

・平成24年9月14日(金)開催分

3 広報事業、シティプロモーション事業		票数	提言内容
1 拡充		1	
(1) 対象の拡大		0	
(2) 事業の手法、内容の拡充		1	・シティプロモーション事業戦略プラン策定中とのことであるが、各課と連携のうえ、具体的、実効性ある手法に取り組むべき。
(3) 事業費の拡充		0	
(4) その他		0	
2 見直し		4	
(1) 事業の一部廃止		1	・シティプロモーション事業については、ゼロリセットして組み立て直さなくては、ほとんど機能しないことが考えられる。ただし、取り組んでいくことは必要である。民間団体等を巻き込んで作成、実行していくことが必要。
(2) 事業内容、手法の見直し		4	
① 民間委託実施・拡大		0	
② 指定管理者制度の導入		0	
③ 自主財源確保(受益者負担等)		0	
④ 対象の見直し		2	・シティプロモーション事業の広報先を確定する。 ・市内のものづくり企業、業者との連携を強めること。 ・「シティプロモーション戦略プラン」を市民にPRすること。
⑤ 手段の追加、改善		4	・「広報事業」と「シティプロモーション事業」の違いを市民に分かりやすくすると同時に市民への協力を請う。 ・広報紙に「民間執筆コーナー」というより「市民執筆コーナー」を設ける。 ・シティプロモーション事業においては、観光・産業関係の団体・事業所と連携してアイデアを出してもらったり、広報してもらったりすることが必要。 ・目的、スタンスを明確化したうえで手法を考えていくべし。田川のグランドデザイン策定の為の会議体を作ってはどうか。 ・広報紙は、行政の情報を明確に伝えるためにあるべきである。ホームページの使い易さの検証をして改善してはどうか。 ・キャラクターの活用。 ・広報事業については、市民ニーズ、満足度をきちんと把握して費用対効果を検証し、効果的、効率的にしていけることが必要。 ・ホームページの内容、検索方法の改善。
⑥ 設定目標の見直し		2	・シティプロモーション事業は、現段階では目標も手法も非常に抽象的で現実的なイメージがない。例えば、「ものづくり産業都市」イメージの普及が目標に掲げられているが、イメージの普及の前に「ものづくり産業」の内容がない。田川市の将来像をもっと具体的に作るべきである(総合計画の問題であるが)。 →目標の具体化が必要。 ・広報事業についてもシティプロモーション事業についても、目標(広い)と事業(極めて狭い)が繋がっていない。 →目標を達成するための具体的手法が必要。
⑦ 実施期間の短縮		0	
⑧ その他		1	・市外企業等向けについては、シティプロモーション事業に統合していくべき。
3 廃止		0	
(1) 手段が目的化している		0	
(2) 達成手段として不適當		0	
(3) 効果なし(薄い)・逆効果		0	
(4) サービス受給者の自助努力・自己負担		0	
(5) 行政の役割終了、民間実施		0	
(6) その他		0	

(その他コメント)

・事務事業シートの「広報事業」部分には、広報紙のことしか記載されていない。広報紙の重要性は理解できるが、「広報事業」全体が分かるデータ載せるべきである。

・民間との連絡を深めて、具体的なビジョンを早急に策定すべき。